

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《保健体育》

※詳細については、資料Ⅱ(保健体育-5～保健体育-11)を参照。

発行者の略称	東書	書名	新しい保健体育
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、心肺蘇生法の実技のイラストや写真に補助線を用いるなどして、ポイントが示された『応急手当の意義と方法』が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、知識・技能の活用方法を取り上げた『活用する』が設定され、『見つける』『課題の解決』『広げる』という項目が掲載されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習を生活に生かすために『広げる』のコーナーが設けられている。また、日常生活での活用例が『学習のまとめ』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、障がいの有無や人種などを越えたスポーツの取組例が『人と人をつなぐスポーツ』のコーナーなど見開きページで掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「健康教育」について、大腸がんの腫瘍の様子を写真で取り上げた『がんの発生と経過』が掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、社会で健康や安全、防災などを支えている人を取り上げた『支え合って生きている』が掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、学習で得た知識をもとに、自分の行動を改善したり、確かめたりする活動例を取り上げた『広げる』のコーナーが各章各単元に掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、全学年でマークを使用して、関連する他教科(理科、技術・家庭科、社会科、道徳科)の学習内容について示されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、自身のことや日常体験、小学校で学習したことを発問の内容として取り上げた『見つける』が掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、日本人にとって特別なスポーツ文化を取り上げた『日本人と運動会』が『運動やスポーツの必要性和楽しさ』の中に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、折込で心肺蘇生の方法やAEDの使い方などを、写真を中心に取り上げた『傷害の防止』で掲載されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習したこと、中学校で学習すること、高校で学習することを示した、『章の扉』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、情報モラルに配慮しながら、必要な情報を入手し活用する力の育成を取り上げた『インターネットによるコミュニケーションとトラブル』が掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、グラフや図を読み取る補助となる文章が『ポイント』で示されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 学習の流れを示した『見つける』『学習課題』『課題の解決』『広げる』が4ステップで示されている。また、巻末に『キーワードの解説』が設定されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 最新のデータを扱うことについて、各単元の学習内容の中で使用されている資料の発行年や著者などを示した『出典一覧』が掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 他者に表現できるような学習活動について、学習した資料を基に、自分の経験などに関連させ発表する活動を取り上げた『活用する』のコーナーが設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うことについて、今後の生活に生かしていく課題を取り上げた『広げる』や『日常生活に生かそう』が掲載されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 保健編6章、体育編3章『運動やスポーツの多様性』『運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方』『文化としてのスポーツの意義』で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインしています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>		

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《保健体育》

※詳細については、資料Ⅱ(保健体育-5～保健体育-11)を参照。

発行者の略称	大日本	書名	中学校保健体育
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、心肺蘇生法の一連の流れやAEDの使い方を取り上げた『心肺蘇生法の実習』が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、章末にその章で学習したことを振り返り記入する『学びを活かそう』の項目が設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、自分の身の回りに関する内容を取り上げた『つかもう』が設定され、自分の生活に生かす『活用して深めよう』も設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、年齢や性別の違いを超えて共に運動やスポーツに親しむことを取り上げた『運動やスポーツへの多様な関わり方』が掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「健康教育」について、がん教育の意識を高め、がん検診の受診を呼びかけたポスターを取り上げた、『がんの早期発見のために』が掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、自分の生き方や進路選択を取り上げた『世界で活躍する人々を支える健康』が掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、資料を読み取り、他の生徒と考えたり、話し合ったりする活動が章末の『学びを活かそう』のコーナーで設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、全学年でマークを使用して、関連する他教科(理科、技術・家庭科、社会科)の学習内容について、色が分けられ示されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、具体的なイラストや吹き出しから自分の考えを書き込む欄を設けた『学びを活かそう』が掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、日本固有の文化として武道を取り上げた『運動やスポーツの移り変わり』が『運動やスポーツの多様性』の中に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、見開きで心肺蘇生法の手順やAEDなどについて取り上げた『傷害の防止』が掲載されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習したこと、中学校で学習すること、高校で学習することを示した『章扉』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、口絵に、健康で安全な生活を送るスマートフォンとの付き合い方を取り上げた、『私たちの生活とスマートフォン』が掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、本文と資料のページが分けられ掲載されている。また、本文と資料の背景の色も変えて区別されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 学習の流れを示した『つかもう』『やってみよう』『活用して深めよう』などの項目があり、『キーワード』は単元末にまとめられ、チェック欄が設定されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 最新のデータを扱うことについて、各単元の学習内容の中で使用されている資料の発行年や著者などが示されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 他者に表現できるような学習活動について、学習した資料を基に、自分の日常生活について考え、話し合う活動を取り上げた、『話し合ってみよう』のコーナーが設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うことについて、これからの生活につながる学習活動を取り上げた、『活用して深めよう』や『学びを活かそう』が掲載されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 保健編6章、体育編3章『運動やスポーツの多様性』『運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方』『文化としてのスポーツの意義』で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5変型判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>		

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《保健体育》

※詳細については、資料Ⅱ(保健体育-5～保健体育-11)を参照。

発行者の略称	大修館	書名	最新 中学校保健体育
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、見開きのページで、呼吸法や筋肉をリラックスさせる方法を取り上げた『リラクセーションの方法』が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、『学習のまとめ』で『話し合おう』『生かそう』が設定されている。章末に学んだことを活用する『思考・判断・表現の問題』が掲載されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、章末に自分の課題を見つけるために『課題に向かって』が設定されている。また、応用的な課題が『クローズアップ』に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、すべての人が互いに分かり合い、支えあうことが自然にできる社会の実現をめざす『共に生きる』が掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「健康教育」について、生活習慣や健康診断、がん検診の内容と絡めながら、『がん教育』が設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、今の中学生が2030年の社会を支える立場にあることを取り上げた『SDGs』が掲載されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、話し合う場面を取り上げた『学習のまとめ』が掲載されている。また、本文に関連する知識を取り上げた『ほり下げる』コーナーが設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、全学年でマークを使用して、関連する他教科(理科、技術・家庭科、社会科)の学習内容について示されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、話し合いや意見を出し合う活動で、吹き出しや参考資料を取り上げた『課題をつかむ』が掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、嘉納治五郎の考えを取り上げた『オリンピックの父・クーベルタンと嘉納治五郎』が『文化としてのスポーツ』の中に掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、心肺蘇生法の技能実習やAEDの操作を写真やイラストで取り上げた『傷害の防止』が掲載されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習したこと、中学校で学習すること、高校で学習することを示した『章とびら』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、身近にある犯罪被害やネットワーク利用犯罪の危険性を取り上げた『犯罪から身を守ろう』が掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、○×で答える内容やクイズ形式のものを取り上げた、『課題をつかむ』が導入で掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 学習の流れを示した『やってみよう』『意見を出そう』『考えよう』などの項目があり、当てはまるものをチェックする欄を設けた『課題をつかむ』が設定されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 最新のデータを扱うことについて、各単元の学習内容の中で使用されているグラフや図などを示した『資料の出典一覧』が掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 他者に表現できるような学習活動について、学習した資料を基に、自分の考えを書き込み、意見を出し合う活動を取り上げた『話しあおう』『発表しよう』のコーナーが設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うことについて、これからの生活につながる自分の課題を取り上げた『課題に向かって』が章末に掲載されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 保健編6章、体育理論編3章『運動やスポーツの多様性』『運動やスポーツの効果・学び方・安全』『文化としてのスポーツ』で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『カラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。</p>

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《保健体育》

※詳細については、資料Ⅱ（保健体育-5～保健体育-11）を参照。

発行者の略称	学研	書名	中学保健体育
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、体の部位別に筋肉を意識する『漸進的筋弛緩法』や呼吸法を取り上げた『リラクセーションの方法』が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、学習内容ごとに『課題をつかむ』『考える・調べる』『まとめる・深める』などが設定され、その取り組み方も掲載されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、知識を活用して、探究活動を取り上げた『探究しようよ!』が設定されている。『章のまとめ』に、『生活への活用』などが設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「共生」について、『LGBT』『SOGI』などの性的マイノリティを取り上げた『少数者の声を社会を変える力に』が掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「健康教育」について、がんの治療やがんと共に生きることなどを取り上げた『探究しようよ!』が掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、各単元に関連する職業や資格を取り上げた『JOB』のマークが欄外に掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、知識をもとに、話し合ったり、説明したり、考えたりする活動を取り上げた『まとめる・深める』コーナーが設定されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、全学年でマークを使用して、関連する他教科(理科、技術・家庭科、社会科、道徳科)の学習内容が示されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、論理的な思考力の育成として『言語』マークが掲載されて、話し合いの手立てとして吹き出しなどが示されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、口絵に伝統的な踊りである『盛岡さんさ踊り』や『よさこい祭り』の歴史を学ぶ『高知よさこい情報交流館』を取り上げた写真が掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、心肺蘇生法の手順やAEDの操作を写真やイラストで取り上げた『傷害の防止』が掲載されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習したこと、中学校で学習すること、高校で学習することを示した『章の扉』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、『傷害の防止』にインターネットを通じた犯罪被害の事例を取り上げた『インターネットを通じた犯罪被害の防止』が掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、取り組む課題が、『考える』『表現する』など、どのような活動を行うのがかマークで示されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 学習の流れを示した『学習の目標』『課題をつかむ』『考える・調べる』『まとめる・深める』という目標や学習活動が設定されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 最新のデータを扱うことについて、各単元の学習内容の中で使用されている資料について、その資料内に年、出典が示されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 他者に表現できるような学習活動について、具体的に意見を出し合う『考える・調べる』コーナーや学習したことを基に、話し合う『まとめる・深める』コーナーが設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うことについて、自分自身の生活に生かしていく内容の課題を取り上げた、『生活への活用』が掲載されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 保健編6章、体育編3章『スポーツの多様性』『スポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方』『文化としてのスポーツ』で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『この教科書は、環境に配慮した紙、インキ、印刷方式を使用し、カラーユニバーサルデザインに配慮して製作しています。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅱ】

教科種目名《保健体育》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
東書	「知識・技能」の習得について、心肺蘇生法の実技のイラストや写真に補助線を用いるなどして、ポイントが示された『応急手当の意義と方法』が掲載されている。各章末に穴埋め問題、選択肢問題など複数取り上げた問題が『学習のまとめ』として『確認問題』に掲載されている。
大日本	「知識・技能」の習得について、心肺蘇生法の一連の流れやAEDの使い方を取り上げた『心肺蘇生法の実習』が掲載されている。また、1ページ毎に学習内容に関連した内容を取り上げた『ミニ知識』が掲載されている。各章末に『重要な言葉』が掲載されている。
大修館	「知識・技能」の習得について、見開きのページで、呼吸法や筋肉をリラックスさせる方法を取り上げた『リラクゼーションの方法』が掲載されている。また、『ほり下げる』コーナーで知識が補われ、『キーワード』を入れる穴埋め問題が複数設定されている。
学研	「知識・技能」の習得について、体の部位別に筋肉を意識する『漸進的筋弛緩法』や呼吸法を取り上げた『リラクゼーションの方法』が掲載されている。また、知識の確認や振り返り問題を取り上げた『章のまとめ』が設定されている。学習内容に関連した知識が『情報サプリ』に掲載されている。
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、『アドバイスをする』『説明する』『考える』『計画を立てる』などの知識・技能の活用方法を取り上げた『活用する』が設定され、『見つける』『課題の解決』『広げる』という項目が掲載されている。
大日本	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、章末にその章で学習したことを振り返り記入する『学びを活かそう』の項目が設定され、単元ごとに『やってみよう』『話し合ってみよう』が設定されている。また、『活用して深めよう』では自分の生活にどのように生かしていくかの発問が設定されている。
大修館	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、自ら考え判断し表現する『学習のまとめ』で『話し合おう』『生かそう』が設定されている。また、章末に『思考・判断・表現の問題』など、学んだことを活用して取り組む記述式の問題が設定されている。
学研	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、学習内容ごとに『課題をつかむ』『考える・調べる』『まとめる・深める』などの項目が設けられている。その取り組み方には、『アドバイスしよう』『話し合ってみよう』など、活用方法が設定されている。
③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習したことを自分の生活に当てはめ、更に調べる『広げる』のコーナーが設けられている。『章末資料』で写真や図などが掲載されている。また、章末の日常生活での活用例が『学習のまとめ』に設定されている。
大日本	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、自分の身の回りに関する内容を取り上げた『つかもう』が設定され、自分の生活に生かす『活用して深めよう』も設定されている。また、『学びを活かそう』で知識を広げたり、知識を生かしたりする課題が設定されている。
大修館	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、章末に自分の課題を見つけるために『課題に向かって』が設定されている。また、応用的な課題が『クローズアップ』に設定されている。『章とびら』の欄が写真やイラストとともに見開きページで設定されている。
学研	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習した知識を活用して、探究活動を取り上げた『探究しようよ!』が設定されている。各章の『もっと広げる・深める』『探究しようよ!』で『章のまとめ』に、今後に生かすために『生活への活用』『生かそう』が設定されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	[思いやる力]の「共生」について、障がいの有無や人種などを越えたスポーツの取組例が『人と人をつなぐスポーツ』『支え合って生きていく』が見開きページに掲載されている。また、章末資料に『性の多様性』や『章扉』に道徳科と関連し、様々な人物を取り上げた『偉人の紹介』が掲載されている。
大日本	[思いやる力]の「共生」について、年齢や性別の違いを超えて共に運動やスポーツに親しむ『運動やスポーツへの多様な関わり方』が取り上げられている。また、『個性や能力を大切にする』トピックスが掲載されている。『文化としてのスポーツの意義』で『アダプテッド・スポーツ』が掲載されている。
大修館	[思いやる力]の「共生」について、『国境や障害の有無を超えて』という項目で、すべての人が互いに分かり合い、支えあうことが自然にできる社会の実現をめざす『共に生きる』が掲載されている。また、『特集資料』に『ゆるスポーツ』『超人スポーツ』が取り上げられている。
学研	[思いやる力]の「共生」について、『LGBT』『SOGI』などの性的マイノリティを取り上げた『少数者の声を社会を変える力に』が掲載されている。また、『スポーツの多様性』に『アダプテッド・スポーツ』や『新しいスポーツを作り出す活動』が取り上げられている。
⑤ [たくましく生きる力]自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力 など)	
東書	[たくましく生きる力]の「健康教育」について、大腸がんの腫瘍の様子を写真で取り上げた『がんの発生と経過』が掲載されている。また、『健康な生活と疾病の予防②』で、生活習慣病に食生活が関係していることが示されている。口絵に、『運動やスポーツと食事』が掲載されている。
大日本	[たくましく生きる力]の「健康教育」について、がん教育の意識を高め、がん検診の受診を呼びかけたポスターを取り上げた、『がんの早期発見のために』が掲載されている。また、『がんの治療法の選択』が取り上げられている。さらに、『食生活と健康』で、和食について取り上げられている。
大修館	[たくましく生きる力]の「健康教育」について、生活習慣や健康診断、がん検診の内容と絡めながら、『がん教育』が設定されている。また、『がん体験者のことば』がコラムとして掲載されている。『調和のとれた生活』で自分の生活を振り返るチェックシートが掲載されている。
学研	[たくましく生きる力]の「健康教育」について、がんの治療やがんと共に生きることなどを取り上げた『探究しよう！』が掲載されている。また、『中学校生活と食事』で健康を維持するための食事の献立例が示され、質問形式の項目が複数取り上げられている。
⑥ [社会とかかわる力]社会とのかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動 など)	
東書	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、社会で健康や安全、防災などを支えている人を取り上げた『支え合って生きていく』が掲載されている。また、17の目標のイラストを取り上げた、『SDGsから考えよう』が掲載されている。
大日本	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、自分の生き方や進路選択を取り上げた『世界で活躍する人々を支える健康』が掲載されている。また、これからの生活目標が設定された『クオリティ・オブ・ライフ (QOL)』が掲載されている。
大修館	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、今の中学生が2030年の社会を支える立場にあることを取り上げた『SDGs』が掲載されている。また、マラソン大会で応援する人やボランティアなどを取り上げた『運動やスポーツの多様性』が掲載されている。
学研	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、各単元に関連する職業や資格を取り上げた『JOB』のマークが欄外に掲載されている。『文化としてのスポーツ』で『SDGs』の関わりについて取り上げられている。

3 内容と構成

○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮

東書	主体的・対話的で深い学びについて、学習で得た知識をもとに、自分の行動を改善したり、確かめたりする活動例を取り上げた『広げる』のコーナーが各章各単元に掲載されている。また、『活用する』において他者に説明したり、話し合ったりする場面が設定されている。
大日本	主体的・対話的で深い学びについて、資料を読み取り、他の生徒と考えたり、話し合ったりする活動が章末の『学びを活かそう』のコーナーで設定されている。学習内容と、話し合いを深める活動例が、見開きページで本文と資料に分けて掲載されている。
大修館	主体的・対話的で深い学びについて、話し合う場面や発表する場面を取り上げた『学習のまとめ』が設定されている。また、本文に関連する知識を取り上げた『ほり下げる』『クローズアップ』『特集資料』のコーナーが設定されている。
学研	主体的・対話的で深い学びについて、知識をもとに、話し合ったり、説明したり、考えたりする活動を取り上げた『まとめる・深める』が設定されている。また、教えあいや学びあいを行う課題には『協働マーク』が示されている。

⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮

(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、中学校3年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、生徒が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)

東書	カリキュラム・マネジメントについて、全学年でマークを使用して、関連する他教科(理科、技術・家庭科、社会科、道徳科)の学習内容について示されている。また、地域の人材を活用した取組が取り上げられている。
大日本	カリキュラム・マネジメントについて、全学年でマークを使用して、関連する他教科(理科、技術・家庭科、社会科)の学習内容について、色が分けられ示されている。『家』『地域』マークで、家庭や地域での健康や安全について考える活動が設定されている。
大修館	カリキュラム・マネジメントについて、全学年でマークを使用して、関連する他教科(理科、技術・家庭科、社会科)の学習内容について示されている。『関連』マークによって教科内の学習内容の関連が示されている。
学研	カリキュラム・マネジメントについて、全学年でマークを使用して、関連する他教科(理科、技術・家庭科、社会科、道徳科)の学習内容が示されている。また、体育実技や各教科などとの関わりを示した『キーワードで見る保健体育の学習内容』が掲載されている。

○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成

東書	言語能力の育成について、自身のことや日常体験、小学校で学習したことを発問の内容として取り上げた『見つける』が掲載されている。また、具体的に自分の伝え方を考え、発表する項目を取り上げた、『運動やスポーツやスポーツの安全な行い方』が掲載されている。
大日本	言語能力の育成について、具体的なイラストや吹き出しから自分の考えを書き込む欄を設けた『学びを活かそう』が掲載されている。また、たばこ、酒、薬物に誘われた時の断り方をロールプレイングで考える『健康な生活と病気の予防』が掲載されている。
大修館	言語能力の育成について、話し合いや意見を出し合う活動で、吹き出しや参考資料を取り上げた『課題をつかむ』が掲載されている。また、ペアで理由を説明する活動を取り上げた『飲酒の誘いの断り方』が掲載されている。
学研	言語能力の育成について、コミュニケーション能力や論理的な思考力の育成や言語活動を含む学習内容を取り上げた『言語』マークが掲載されている。また、話し合いの手立てとして吹き出しなどが示されている。

⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
東書	伝統や文化に関する教育の充実について、日本人にとって特別なスポーツ文化を取り上げた『日本人と運動会』が『運動やスポーツの必要性和楽しさ』の中に掲載されている。また、昔の雪遊びの楽しさを現代に再現した『スポーツ雪合戦』が掲載されている。『中学生が深めた地域のきずな』で高知県黒潮町の伝統的な生活が掲載されている。
大日本	伝統や文化に関する教育の充実について、日本固有の文化として武道を取り上げた『運動やスポーツの移り変わり』が『運動やスポーツの多様性』の中に掲載されている。また、貝原益軒の健康な生き方が書かれた『養生訓』が掲載されている。『食生活と健康』で和食がトピックとして取り上げられている。
大修館	伝統や文化に関する教育の充実について、嘉納治五郎の考えを取り上げた『オリンピックの父・クーベルタンと嘉納治五郎』が『文化としてのスポーツ』の中に掲載されている。また、『オリンピック・パラリンピックを学ぼう』でオリンピック・パラリンピックの歴史が写真で掲載されている。
学研	伝統や文化に関する教育の充実について、口絵に伝統的な踊りである『盛岡さんさ踊り』や、『よさこい祭り』の歴史を学ぶ『高知よさこい情報交流館』を取り上げた写真が掲載されている。また、嘉納治五郎の考えを取り上げた『精力善用』『自他共栄』が掲載されている。
⑪ 体験活動の充実	
東書	体験活動の充実について、折込で心肺蘇生の方法やAEDの使い方などが、写真を中心に取り上げた『傷害の防止』で掲載されている。『心身の発達と心の健康』において、2種類の『リラクゼーションの方法』が掲載されている。また、地域安全マップを作成する活動が設定されている。
大日本	体験活動の充実について、見開きで心肺蘇生法の手順やAEDなどについて取り上げた、『傷害の防止』が掲載されている。また、『漸進的筋弛緩法』などを取り上げた『リラクゼーションの方法を試してみよう』が掲載されている。自分が住んでいる地域の安全マップをつくる体験活動が設定されている。
大修館	体験活動の充実について、心肺蘇生法の技能実習やAEDの操作を写真やイラストで取り上げた、『傷害の防止』が掲載されている。また、呼吸法など3種類のリラクゼーションの方法を取り上げた『心身の発達と心の健康』が掲載されている。『けがの防止と応急手当』において、グループで救急車を呼ぶ練習をする活動が設定されている。
学研	体験活動の充実について、心肺蘇生法の手順やAEDの操作を写真やイラストで取り上げた『傷害の防止』が掲載されている。『心身の発達と心の健康』で呼吸法などの『リラクゼーションの方法』が掲載されている。また、自分の1週間の生活をチェックする活動を取り上げた『調和のとれた生活』が掲載されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、各学年とも、小学校で学習したこと、中学校で学習すること、高校で学習することを示した、『章の扉』が掲載されている。また、第1学年の内容で、小学校での学習の振り返りを取り上げた『見つける』が掲載されている。
大日本	学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習したこと、中学校で学習すること、高校で学習することを示した『章扉』が掲載されている。第3学年の終わりに高校生活に向けて、中学校の保健体育で学んだことをどのように生かすか、目標を記入する欄が設定されている。
大修館	学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習したこと、中学校で学習すること、高校で学習することを示した『章とびら』が掲載されている。第1、3学年の内容では、小学校での学習の振り返りを取り上げた『課題をつかむ』の中で『振り返ろう』が掲載されている。
学研	学校段階間の円滑な接続について、小学校で学習したこと、中学校で学習すること、高校で学習することを示した『章の扉』が掲載されている。また、探究の発展として取り上げた内容について、『高校で学習します』というマークを示した、『探究しようよ!』が掲載されている。
⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、情報モラルに配慮しながら、必要な情報入手し活用する力の育成を取り上げた『インターネットによるコミュニケーションとトラブル』が掲載されている。また、影響として『インターネットと依存症』が掲載されている。
大日本	情報活用能力の育成について、口絵に、健康で安全な生活を送るスマートフォンとの付き合い方を取り上げた、『私たちの生活とスマートフォン』が掲載されている。また、インターネットを利用した犯罪被害の事例を取り上げた『責任ある行動』が掲載されている。
大修館	情報活用能力の育成について、身近にある犯罪被害やネットワーク利用犯罪の危険性を取り上げた『犯罪から身を守ろう』が掲載されている。また、『性への関心と行動』に自撮りの被害にあった子どもの数を取り上げた『自撮り被害』が掲載されている。
学研	情報活用能力の育成について、『傷害の防止』にインターネットを通じた犯罪被害の事例を取り上げた『インターネットを通じた犯罪被害の防止』が掲載されている。また、自撮り被害を防ぐ方法を考える項目を取り上げた『自撮り被害にあった子供の数の推移』がグラフで掲載されている。

⑭ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、グラフや図を読み取る補助となる文章が『ポイント』で示されている。見直しをもって学習を進める4つのステップで構成されている。中学校以降で学習する常用漢字には、振り仮名がふられている。
大日本	生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、文章に集中しにくい生徒への手立てとして、本文と資料のページが分けられ掲載されている。また、本文と資料の背景の色も変えて区別されている。さらに、全単元において、4つの統一した構成が使用されている。発達段階を考慮して、イラストや写真、発問の設定や文章表記が設定されている。
大修館	生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、○×で答える内容やクイズ形式のものを取り上げた、『課題をつかむ』が導入で掲載されている。また、その単元で学習する内容の発問を取り上げた『今日の学習』が掲載されている。グラフなどの資料を読み取る補助となる文章が『よみ取る』で示されている。
学研	生徒の学習上の困難さに応じた工夫について、取り組む課題が『考える』『表現する』など、どのような活動を行うのがマークで示されている。1ページの中で本文と資料の位置関係が示されている。また、『キーワード』においては、確認ができるようにチェック欄が設定されている。
⑮ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	学習の流れを示した『見つける』『学習課題』『課題の解決』『広げる』が4ステップで示され、巻末に『キーワードの解説』が設定されている。また、章の最初に『この章で学習すること』があり、学習の見通しがもてるように設定されている。
大日本	学習の流れを示した『つかもう』『話し合ってみよう』『やってみよう』『調べてみよう』『活用して深めよう』などの項目があり、『キーワード』は単元末にまとめられ、チェック欄が設定されている。また、章の最初に『この章で学習すること』があり、学習の見通しがもてるように設定されている。
大修館	学習の流れを示した『やってみよう』『意見を出そう』『考えよう』などの項目があり、当てはまるものをチェックする欄を設けた『課題をつかむ』が設定されている。また、章の最初に『この章で学習すること』があり、学習の見通しがもてる資料が掲載されている。
学研	学習の流れを示した『学習の目標』『課題をつかむ』『考える・調べる』『まとめる・深める』という目標や学習活動が設定されている。また、章の最初に学習の見通しがもてる資料が掲載されている。
⑯ イラスト、写真、事例等の資料について、最新のデータを扱うなどの信頼性があり、生徒が健康・安全について、自他の課題を発見し、解決することに役立つような工夫や配慮がなされているか。	
東書	最新のデータを扱うことについて、各単元の学習内容の中で使用されている資料の発行年や著者などを示した『出典一覧』が掲載されている。また、資料の同じ項目が色を統一するなどして示されている。（『死亡原因』2017年、など）
大日本	最新のデータを扱うことについて、各単元の学習内容の中で使用されている資料の発行年や著者などが示されている。（『中学生のケガの種類』日本スポーツ振興センター『学校の管理下の災害』2017年、など）
大修館	最新のデータを扱うことについて、各単元の学習内容の中で使用されているグラフや図などを示した『資料の出典一覧』が掲載されている。また、どの単元でもグラフなどの色が統一されている。（『中学校の生活におけるけがの場合』2017年、など）
学研	最新のデータを扱うことについて、各単元の学習内容の中で使用されている資料について、その資料内に年、出典が示されている。（『日本人の死因』2017年、など）
⑰ 生徒が個人生活における健康・安全について科学的に思考し、判断するとともに、筋道を立てて他者に表現できるような学習活動が取り上げられているか。	
東書	他者に表現できるような学習活動について、学習した資料を基に、自分の経験などに関連させ発表する活動を取り上げた『活用する』のコーナーが設定されている。また、課題の解決に向けて見開きページに発問が設定されている。
大日本	他者に表現できるような学習活動について、学習した資料を基に、自分の日常生活について考え、話し合う活動を取り上げた『話し合ってみよう』のコーナーが設定されている。また、グループでの話し合い活動などを取り上げた『学びを活かそう』が掲載されている。
大修館	他者に表現できるような学習活動について、学習した資料を基に、自分の考えを書き込み、意見を出し合う活動を取り上げた『話しあおう』『発表しよう』『生かそう』のコーナーが『学習のまとめ』で設定されている。また、学んだことを活用する『思考・判断・表現の問題』が掲載されている。
学研	他者に表現できるような学習活動について、具体的に意見を出し合う『考える・調べる』コーナーや学習したことを基に、話し合う『まとめる・深める』コーナーが設定されている。また、グラフを読み取り、意見を出し合う活動を取り上げた『考える・調べる』が設定されている。

⑱ 生徒が生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うよう、学習活動の工夫や配慮がなされているか。	
東書	生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うことについて、今後の生活に生かしていく課題が『広げる』や『日常生活に生かそう』に掲載されている。また、3年間のまとめとして健康課題について発表する活動が設定されている。
大日本	生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うことについて、これからの生活につながる学習活動を取り上げた、『活用して深めよう』や『学びを活かそう』が掲載されている。また、3年間のまとめでこれからの目標を記入する欄が設定されている。
大修館	生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うことについて、これからの生活につながる自分の課題を取り上げた『課題に向かって』が章末に掲載されている。また、『クローズアップ』『特集資料』により、学びを広げたり深めたりできるよう設定されている。
学研	生涯にわたって心身の健康を保持増進する態度を養うことについて、自分自身の生活に生かしていく内容の課題を取り上げた、『生活への活用』が掲載されている。また、3年間のまとめで、『保健体育の学習の終わりに』が設定されている。

4 分量・装丁・表記等

⑲ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	保健編6章『健康な生活と疾病の予防①』『心身の機能の発達と心の健康』『傷害の防止』『健康な生活と疾病の予防②』『健康と環境』『健康な生活と疾病の予防③』、体育編3章『運動やスポーツの多様性』『運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方』『文化としてのスポーツの意義』で構成されている。
大日本	保健編6章『健康な生活と病気の予防』『心身の発達と心の健康』『健康な生活と病気の予防』『傷害の防止』『健康な生活と病気の予防』『健康と環境』、体育編3章『運動やスポーツの多様性』『運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方』『文化としてのスポーツの意義』で構成されている。
大修館	保健編6章『調和のとれた生活』『心身の発達と心の健康』『生活習慣の健康への影響』『けがの防止と応急手当』『感染症の予防と健康を守る社会の取り組み』『環境の健康への影響』、体育理論編3章『運動やスポーツの多様性』『運動やスポーツの効果・学び方・安全』『文化としてのスポーツ』で構成されている。
学研	保健編6章『健康な生活と病気の予防①』『心身の発達と心の健康』『健康な生活と病気の予防②』『傷害の防止』『健康な生活と病気の予防③』『健康と環境』、体育編3章『スポーツの多様性』『スポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方』『文化としてのスポーツ』で構成されている。
⑳ 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型はA B判が採用されている。
大日本	判型はB 5変型判が採用されている。
大修館	判型はA B判が採用されている。
学研	判型はA B判が採用されている。
㉑ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
大日本	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
大修館	『カラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。
学研	『この教科書は、環境に配慮した紙、インキ、印刷方式を使用し、カラーユニバーサルデザインに配慮して製作しています。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する文章や写真・グラフ等の掲載

東書	67ページ 交通環境整備例の写真2枚 (川崎市) 101ページ 飲酒開始年齢とアルコール依存症のグラフ (横須賀市久里浜医療センター) 141ページ 災害廃棄物処理計画 (横浜市) 166ページ かながわプラゴミゼロ宣言 (神奈川県)
大日本	85ページ 受動喫煙防止表示写真1枚 (神奈川県) 95ページ コミュニティ道路写真1枚 (横須賀市) 97ページ 街頭緊急通報装置写真1枚 (藤沢市)
大修館	口絵4 箱根駅伝の写真 口絵5～6 金澤翔子「共に生きる」 口絵8 クリーンなエネルギー写真1枚 (藤沢市) 58ページ 体操の白井選手の写真 59ページ 箱根駅伝の写真 71ページ 増水注意の看板写真1枚 (秦野市) 75ページ 禁煙表示写真2枚 (小田原市) 106ページ 広域避難場所標識写真1枚 (藤沢市) 107ページ 津波避難表示写真2枚 (小田原市) 123ページ 先進的なスポーツ推進の取組 (横浜市) 123ページ スポーツ教室写真1枚 (鎌倉市) 129ページ ボッチャの写真1枚 (藤沢市) 144ページ 水質検査写真1枚 (横浜市) 154ページ 最新浄化装置写真1枚 (横浜市) 165ページ 浄水装置・セラミック膜ろ過装置写真 (横浜市) 169ページ 防災ラジオ写真1枚 (藤沢市)
学研	85ページ 県立歴史博物館写真1枚 (横浜市) 85ページ 路上喫煙禁止看板写真1枚 (藤沢市) 95ページ 長期間にわたる多量の飲酒の害に関する脳の写真2枚 (横須賀市久里浜医療センター) 120ページ 津波避難場所の案内写真1枚 (横浜市) 121ページ 防災訓練の様子写真1枚 (川崎市) 139ページ スポーツ推進計画写真2枚 (横浜市) 151ページ エイズ予防ポスター写真1枚 (川崎市) 181ページ 大規模災害時のごみの出し方・し尿処理に関する写真1枚 (横須賀市)

② URL、二次元コード等の掲載の有無

発行者名					
東書	有				
大日本	有				
大修館	有				
学研	有				

③ 一冊ごとの重量(g)

発行者名	冊数	重量(g)			
東書	1	417			
大日本	1	441			
大修館	1	438			
学研	1	426			